



登別の良さを日本や世界に

11/22

三味線奏者「吉田兄弟」に
「鬼大使」を委嘱
登別市ふるさと大使

委嘱状を手に記念撮影をする
吉田良一郎さん(左)と吉田
健一さん(右)

11月22日(月)、市は、三味線奏者の「吉田兄弟」に登別市ふるさと大使「鬼大使」を委嘱しました。

鬼大使は、登別市にゆかりのある方にさまざまな機会を通じて市のPRをしてもらうとともに、まちづくりに役立つ有益な情報を提供してもらうため委嘱するものです。

この日は、兄の吉田良一郎さんと弟の吉田健一さんがそろって市役所を訪れ、小笠原市長が委嘱状とPRカードを手渡し、「お二人に『鬼大使』になっていただくのは、かねてからの私の念願でした。登別をさまざまな機会でもPRしていただきたいですし、まちづくりについて意見交換をしたい」と述べると、お二人から「私たちのルーツは登別。日本や世界に登別の良さを伝えたいと思いますし、登別の子どもたちにも、三味線の良さを伝えていきたい」と抱負を述べられました。



▲小笠原市長から表彰を受ける入賞者

身近なエコを ポスターで訴える

11/25

小学生による環境ポスター展表彰式
11月25日(木)、アーニスで「小学生による環境ポスター展」(市主催)の表彰式が行われました。

この催しは、2008年に行われた北海道洞爺湖サミットを契機に、環境学習の一環として行われているもので、今回は、277人の応募の中から入賞者20人を選考しました。

表彰式では、小笠原市長が入賞者に賞状などを手渡し「このポスターを見た多くの市民が、環境への関心をさらに高めて、地球に優しいふるさと『登別』づくりに参加してほしい」と話しました。